

英米文化研究会役員（令和元年度）

会 長：日影 尚之（2012年～）

副 会 長：犬飼 孝夫（2012年～）

理 事：中山 理（2009年～）、渡邊 信（2010年～）

庶 務：田中 俊弘（2012年～）

会 計：佐藤 良子（2018年～）、Richard John Walker（2018年～）

会計監査：望月 正道（2012年～）

編集委員：A. Nicolai Struc（2012年～）、高本 香織（2015年～）、Andrew S. MacNaughton
（2016年～）、花田 太平（2017年～）、Jason M. Morgan（2017年～）

令和元年度の活動

令和元年

9月30日（月）『麗澤レビュー』第25号刊行

令和2年

1月23日（木）総会開催

編集後記

2020年は東京オリンピックが開催され、記念すべき年になるはずでした。それが、残念ながら違う意味で歴史に残る年となってしまいました。武漢市で発生した新型コロナウイルスによる肺炎のニュースを私が初めて聞いたのは、2019年12月の下旬でした。その後、「ロックダウン」「クラスター」「PCR」といったこれまで馴染みのなかった言葉を毎日ニュースで目にするようになり、「三密」や「新しい生活様式」といった新しい概念が生み出され、「自粛警察」や「コロナ差別」といった社会現象にまで発展しました。新型コロナ感染症は、あつと言う間に私たちの住む世界を変えてしまいました。

地球上の生物はウイルスと共存することで進化してきたといえます。特に哺乳類は、その進化の過程でウイルスが重要な役割を果たしていたことがわかっています。新型コロナは世界中を大混乱に陥れましたが、今回の戦いでも、私たち人類はきっとウイルスに勝利し、新しい環境に適応するでしょう。この麗澤レビューもアフターコロナの新しい社会に貢献できるよう、今後もさらなる進化を遂げていきます！

高本 香織

麗澤大学英米文化研究会規約

- (1) 本会は「麗澤大学英米文化研究会」と称し、本部を千葉県柏市光ヶ丘2-1-1 麗澤大学外国語学部英語二専攻共同研究室におく。
- (2) 本会の会員は、麗澤大学において英語・英米文化の教育・研究に携わる専任教員、あるいは会員1名の推薦を受け、会長の承認を得た者とする。
- (3) 本会に会長をおき、その任期を2年とし、再任をさまたげない。なお、会長の選出は、年次総会における会員の互選とする。
- (4) 本会に副会長（1名）、理事（2名）、庶務（1名）、会計（1名）、会計監査（1名）、編集委員（若干名）をおく。任期は2年として、再任をさまたげない。なお、その選出は、年次総会における会員の互選による。
- (5) 本会の会費は年2千円とする。ただし会員が学生の場合は年1千円とする。
- (6) 本会は、英米文化、言語全般および関連分野の研究を行うことを目的とし、以下の活動を行う。
 - 1) 研究発表会
年数回。随時発表者を決めて会員の研究発表会を行う。
 - 2) 年次総会
年1回（6月の土曜日）。内外より講演者を招き、特別講演会を開催する。
 - 3) 機関誌『麗澤レビュー』の発行

付 則

- (1) この規約は、平成16年6月12日から改正、施行する。
- (2) この規約は、平成22年6月26日から改正、施行する。
- (3) この規約は、平成23年6月11日から改正、施行する。

令和2年9月30日発行

発行者 〒277-8686 柏市光ヶ丘2-1-1
麗澤大学外国語学部ALSC事務室気付
麗澤大学英米文化研究会
(電話) 04-7173-3074



Cover Design
by T. Murakami

Reitaku Society for
English & American Cultures